

(公財)福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

### 平成27年度 福岡県移住者子弟留学生10名が福岡での新生活をスタート!

今年度は、10名の移住者子弟留学生が来日し、福岡県で1年間の留学生生活をスタートしました。慣れないことも多い福岡での留学生活ですが、2か月たった今では、留学生同士で協力しながら、元気に学校生活を楽しんでいます。また、5月13日には、海老井副知事を表敬訪問しました。副知事より、「1年間の留学期間は短い時間ですが、福岡での1年間は皆さんの人生の中で貴重な時間になると思います。福岡では多くの友人を作り、10名で切磋琢磨しながら、大きく成長される1年になることを期待しています。」と激励の言葉を頂きました。



【海老井副知事と記念撮影】

### 日本・福岡での生活

県費留学生の仲間や、福岡に住む親戚に会えて嬉しかったです(緒方)。初めて家族や友達と離れて暮らすことに心配をしていましたが、福岡の皆はとても温かくて優しく、すぐに家にいる気持ちになりました(プリビ)。福岡のみなさんに歓迎してもらえてとても嬉しいです。そして、他の国からの県費留学生に会えて嬉しかったです(平田)。1年間海外で勉強できること、また、私の祖父が小さい時から住んでいた場所を見られることが嬉しいです(寺本)。祖父達が住み、父が生まれた場所を知る(ルーツを知る)ことができ、とても嬉しいです。彼らが過ごしたであろう同じ場所に立ち、日本の親戚に会い、日本とアルゼンチンの繋がりを深めることができました(江口)。



### 学校生活

初めは、日本人の同級生に声をかけるのが少し怖くて緊張していましたが、今では彼らは私にとって家族のような存在になりました(タナベ)。毎日がとても楽しいです。友達もたくさんできて、皆の名前を覚えるのが大変です(高階)。先生方にはとても親切に迎えてもらい、友達もでき、皆が授業の説明をしてくれたり、福岡県の特徴を教えてくださいました(北川)。日本語は難しいですが、日本人の友達を作ることは日本語の上達に繋がるし、もっと日本のことを知るチャンスだと思っています(吉開)。学校は楽しいです。私の日本語があまり上手ではないので、まだ友達は多くありませんが、先生方、スタッフの皆さん学生たちはとても良い人たちです(松井)。

平田さゆり (ブラジル)



寺本英樹 (メキシコ)



江口イネ (アルゼンチン)



タナベ アレックス (ペルー)



### 1年間の目標

3つの目標があります。1つ目は、世界中に写真を通して福岡県を発信すること。2つ目は、ポートレート写真について学ぶこと。3つ目は、日本語を勉強すること。12月には日本語能力試験2級を受けたいです(タナベ)。日本の田植えや稲の管理技術についての知識を100%身に付け、学んだ知識をボリビアでいかしたいです(緒方)。精一杯勉強をして、勉強以外にも、もっと日本文化を知り、帰国後は更に福岡県人会のために頑張りたいと思っています(高階)。日本語と都市計画の勉強を頑張って、多くのことを学びたいです(プリビ)。家族会の方々と友達との交流を通じて、日本の伝統文化を理解し、大学では、高度な知識や技術を身につけたいです(北川)。日本文化や日本語、日本経済について学び、福岡で学んだことと、ブラジルで学んだことを比較、分析したいです(平田)。日本語の勉強を頑張り、福岡大学で勉強していることを、帰国後メキシコでも勉強したいです。また、2016年メキシコで開催する世界大会に、多くの青年に参加してもらいたいことも私の目標です(寺本)。染色や木工芸、金の修復などの伝統工芸を学び、自分の学んできたデザインと融合させたいです。また、日本語のコミュニケーション能力を向上させたいです(江口)。日本語と日本文化を学び、現在勉強している日本のデザインとアートについて、メキシコとの違いなどを出来るだけ吸収したいと思います。そして、日本での素晴らしい経験をメキシコへ持ち帰りたいです(吉開)。大学での研究や日本語の勉強に加えて、着物や袴などの日本の伝統的なファッションや、三味線などの和楽器について、日本文化をもっと学びたいです。たくさん友達を作り、多くの人とネットワークを作りたいです。私はより内向的な性格ですので、会話力も改善したいです(松井)。



北川瞳 (パラグアイ)



吉開順一 (メキシコ)



松井エリック (南加)

